



～市民と行政が共に歩む一歩～ 第5回まちづくりフェスティバルを開催しました!!

平成25年11月30日(土)、大和庁舎で「第5回郡上市まちづくりフェスティバル」が開催され、中高生を含む市民約160名の大勢の方々に来場いただきました。このイベントは昨年7月に誕生した市民協働センターの活動の周知、啓発のために昨年からはセンターの主催で行っています。今年は「第2回まちづくりプロジェクトコンテスト」や、地域づくりについての講演会、市内の地域づくり団体の発表などを行いました。このイベントを通じて、多くの皆さんが市民協働について考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

岐阜大学 山崎仁朗先生のお話



地域のポトムアップが大切!
できることから
やってみよう!

「中高生が地域の事について考え、発表の場があることはとても良いですね。コンテストの提案は全て素晴らしいものでした。ぜひ取り組んでいってもらいたいです。そしてより多くの方が地域について考え、息切れしないよう、持続可能な取り組みをすることが大切。そのためには地道な努力が必要ですね。」

輝くママたち *おひさまカフェ*

同日開催しました!!

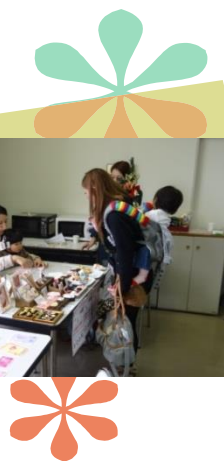
大和庁舎食堂では子育てママ達がワンコイン体験「おひさまカフェ」を開催しました。子どもと一緒に体験できる木製おもち作り・デコスイーツ作り・ママ向けには筆文字アート・ヘッドマッサージ・雑貨屋さん等の出店がありました。事前準備や当日のブース出店もママ達の手によってされ、その姿は生き生きと輝いていました。

団体発表

郡上食育応援隊
た〜んと君
も応援に駆け付けて
くれました!!



看板を描く
筆文字アーティスト
松村こづえさん⇒



第2回まちづくりプロジェクトコンテスト 提案件数が去年のなんと3倍に!!!

皆さんの住んでいる地域の課題を解決するために市民同士、または市民の皆さんと行政が協力して取り組む活動のアイデアをご提案いただくコンテストです。本年度は市内から中学生の部271件、一般・高校の部には61件という大変多くのご提案を頂きました。皆さんの地域への関心の高さがうかがえます。当日は事前の書類審査によって選出された中学の部3提案、一般高校の部7提案のプレゼンテーションが行われました。一般・高校の部では、来場者による投票と審査員による点数の合計で順位が決定しました。

CONGRATULATIONS!

【中学生の部】ノミネート賞



提案名 八幡町で誰もができる運動会

提案者 丸山義仁さん 松田成就さん
森勇斗さん 桑原優輝さん

内容 八幡町には地区ごとに運動会があるが、まち全体での運動会はない。老若男女が楽しめる運動会を開催する。年齢別に行い、郡上のさまざまな場所で実施する。

提案名 郡上の水の魅力を伝えよう

提案者 毛利布綺さん 可児麻里子さん
高瀬綾香さん 広瀬妙子さん

内容 観光客から「水を飲める場所はどこですか?」と聞かれることがよくあり、マップがあると良いと考えた。水飲み場が分かるマップをつくり、町内にある土産物屋にて空のペットボトルにマップをつけて販売する。



提案名 郡上を元気にし隊

提案者 日置綾乃さん

内容 郡上には8つの中学校があるが、部活動以外で会って話をする機会がない。これからの郡上を担う私たちが交流し、郡上の未来についての討論会を開催し、郡上を元気にし、まちづくりに生かしたい。



【一般・高校の部】

最優秀賞

提案名 BOCプロジェクト実行委員会
提案者 BOC (Bon Odori City) プロジェクト
代表 畑佐晴之さん

内容 毎年7月8月を「盆おどり市」にする。郡上市役所を「盆おどり市役所」にするなど、名称を可能な限り変更し、協力していただける職場は浴衣か盆おどりTシャツを制服に。郵送物も盆おどり市で届くようにする。うちわや手ぬぐい、ステッカーなどのグッズや、WEB「盆おどり市特設サイト」でアピールし郡上ファンを増やす。



優秀賞

提案名 郡上を子育てしやすい町にするために郡上市民病院の待合室をありがとうでいっぱいしよう
提案者 加藤祐里さん

内容 妊婦さんや子育て中の母親は、日頃から悩みを打ち明けられるような場が少ないため、小さな不安を積み重ね、抱えている。そこで、これから出産する人、先輩ママが気軽に交流できるような悩みを話しやすい場を病院の待合室につくる。壁面には、ホッとしたりエピソード等のメッセージコーナを設ける。また、昔の子育ての写真展を開催する。



奨励賞

提案名 郡上を救え！～活性化大作戦～
提案者 粥川萌美さん 松平沙英さん

内容 郡上の人口減少を食い止めるため、地元企業と高校生をつなぎ、郡上で就職する人を増やしたいと考えた。地元のテレビ局の協力により、地元企業の紹介、情報番組を制作し、その情報を学生たちが得ることで企業と人材のマッチングをさせる。このことにより郡上で働く人を増やし、地元の活性化につなげていきたい。



三原尚子さん 粥川萌美さん 松平沙英さん

審査員特別賞

提案名 移住と観光のあいだのくらしの提案
木村聖子さん
空き家を利用し移住体験や滞在型小旅行を提案する。

提案名 GUJO GETA ウォーキングランコロン大会
河合光尋さん
郡上マークの入った下駄を履いて歩く大会を開催する。

提案名 郡上置床プロジェクト
置田優一さん
間伐材を使った、パーツがつなぐ人と自然の新しい暮らし方の提案

提案名 お年寄りの知恵～高校生の観光案内～
三原尚子さん
高校生がお年寄り宅を訪問し情報を教えてもらい観光案内を行う。

地域課題解決のために活動している団体による発表



深戸自治会

地域住民にアンケート調査を行い、未来を見据えた地域づくりの方向性と課題を洗い出し、勉強会を実施。
長良川河川敷の草刈など自然環境の保全管理や、地域活性化をめざした地域特産物の開発などを行っています。

石徹白地区地域づくり協議会

地域課題である「過疎化」。将来にわたって地区を存続させるために、子育て世代の定住受け入れの仕組みを構築し、空き家の整備等の活動を行っています。

郡上食育応援隊

「食の大切さ」「食べることは生きること」を伝えるため市内全域で活動中。元気で明るく笑顔あふれる郡上が、これからの若人の活力によって続いてほしいという願いが込められています。



編集後記

昨年に引き続き、まちづくりフェスティバルの中で「まちづくりのアイデアを競うコンテスト」が行われました。八幡中学校では、3年生全員がグループでこのコンテストに参加しますので、協働センターのスタッフ（協働コーディネーター）が、市民協働についてお話に行きました。そうしたら、中学生からいくつかの感想が届けられました。

その中に：、「先輩の方がふと思いついた提案が、「郡上ゆかたコレクション」のように実現されることで、町の活性化、たのしいまちづくりへとつながるので、小さな思いつきも大事なんだなあと思った。特別支援学校で作った「さをり織り」を下駄とコラボしたりして、たくさんの人に知ってもらいたいことがよいなあと思った。」「今回行われた「郡上ゆかたコレクション」のように、アイデアを提案することで、市民協働センターや観光協会の協力で、本当に実現できるのがすごいと思った。自分たちの力で郡上を盛り上げていけるんだと思った。」と書かれていました。

将来の郡上を担ってくれる、何とも頼もしい中学生ではないでしょうか。

一般・高校の部を含め、今回の提案の中には素晴らしいアイデアが沢山ありました。頂いたアイデアをどう活かすか、具体化するか、市民協働センターがどう動くかという、私たちへの挑戦と受け止め、今後の活動を進めて行きます。

市民協働センター長 上村 英二

センターの活動

センターでは**情報推進**や**啓発活動**を担っています！



マレーシアJICA（青年研修事業）の視察対応をしました。



八幡中学校さんの「総合的な学習の時間」の授業でまちづくりのお話をしました。

郡上市

市民協働センター

TEL 0575-88-2217

FAX 0575-88-2218

E-mail kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

〒501-4607 郡上市大和町徳永 585 番地 郡上市役所 大和庁舎 1 階

業務日時：月曜日～金曜日 8:30～17:15（土・日・祝祭日・12/29～1/3 をのぞく）